

令和4年 第4回

愛西市立小中学校  
適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

令和4年 第4回

愛西市立小中学校

適正規模等並びに老朽化対策検討協議会

会議録

開会日時 令和4年9月5日(月) 午後1時53分  
閉会日時 令和4年9月5日(月) 午後4時13分  
場 所 愛西市役所 南館1階 1-3、1-4会議室

■出席委員

会 長	岩崎 恭典
副 会 長	水谷 瀧男
委 員	青山 道男
委 員	高見 是久
委 員	水谷 正照
委 員	三輪田 日出夫
委 員	中野 俊郎
委 員	伊藤 悟
委 員	諏訪 淑子
委 員	吉次 章浩
委 員	前田 健治
委 員	井上 貴晶
委 員	浅井 敏幸
委 員	里村 昌史
委 員	浅野 忠勝
委 員	下里 亘
委 員	中野 利哉
委 員	富山 美奈子
委 員	伊藤 基成

■欠席委員

委 員	高橋 和希
-----	-------

■事務局	教育長	平尾理
	教育部長	三輪進一郎
	企画政策部参事	伊藤孝一
	教育部次長	小島洋志
	学校教育課長	猪飼政和
	学校教育課主幹	吉田光男
	学校教育課課長補佐	坪井靖史
	学校教育課主事	伊藤尚記

■市長部局	企画政策部危機管理課長	大野敦弘
	市民協働部市民協働課長	丹羽久美

■傍聴者 5名

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 中学校の検討について

(2) その他

4 閉会

<p>(事務局)</p>	<p>1. 開会 開会宣言</p>
<p>(教育長)</p>	<p>2. あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回は、小規模中学校の課題解消についてご検討いただきました。結論として、佐屋中学校、立田中学校を統合、八開中学校と佐織西中学校を統合という方向性をいただきました。これに対する課題がたくさんあると思いますが、先に検証委員会でも提言をいただきました、中学校を優先して着手していくことに関しては、同意いただいたと思っております。本日はこの方向性に基づき、該当する中学生の通学方法、通学距離、あるいは老朽化対策について具体的に協議いただきたいと思っております。また、通学に伴い、小学校の方にも影響が出てくる可能性があります、現状を踏まえ、今後の在り方についてご協議いただきたいと思っております。とりわけ、中学校を統合する学区の小学校においては、一定の方向付けをお願いし、基本計画に反映できればと思っております。小学校の資料は、配布しておりませんが、会議の進み具合によっては、事務局のたたき台として資料をご覧いただければと思っております。</p> <p>以前にも申し上げましたとおり、適正化、老朽化対策は、この短期間だけでは、当然解決できる問題ではありませんし、策定はできないわけであり、世の中の趨勢、特に子どもたちの数、学習形態の変化によって左右される部分があると思っております。しかし、今回ご提案いただく基本計画は、現状において、優先的に着手すべき案件を中心に取られるものと考えております。従いまして、日々の社会情勢を踏まえ、段階的にタイムリーに策定していくものと考えておりますので、委員の皆様方には、中長期的な視点を持って、まずは、目の前の課題についてご協議いただきますようお願いいたします。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>では、岩崎会長よりご挨拶をいただいた後、議事の進行をお願いしたいと思っておりますので、よろしくようお願いいたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>本日もよろしくお祈りいたします。2日前に全国的なデータとして公表され、今年の上半期の出生数が40万人を切るのではないかと予測されることでした。年間で言うと80万人を切ってしまうとのこと。一番人数が多かった団塊世代が昭和22年生まれで、250万人、それが今年の成人式を迎えた子どもたちが120万人ですので、団塊世代の人たちよりも半分になっていますが、昨年全国で生まれた子どもの数が80万人です。</p>

	<p>成人式を迎えた 120 万人より 3 分の 2 しか昨年は、生まれていないこと になります。ということは、7 年後、13 年後にはその数の小学生であり、 中学生であると考えられる実数であります。さらに、コロナによる出産 控えや景気の問題の影響もあると言われていますが、今年 80 万人を切っ てしまう可能性があるとのことでした。そうすると、ますます小学校、 中学校の段階的、計画的に見直しを考えていかなければならないと思 います。</p> <p>だからこそ我々は、今生まれている子どもたちのための小学校、中 学校の教育環境をどう整えるべきかを議論していく必要があると思いま す。それが、愛西市の様々な施策と関連して、できるだけ子どもを減ら さないようにするのが重要であると思います。全国的にも減っているの で、愛西市だけ増えることがないにしても、なんとか維持していくこと を考えていただきたいと思います。ですので、子育てするなら愛西市と なるよう、適正規模、老朽化に関して議論していきたいと思いま す。先程教育長からもお話がありましたが、当然中学校の再編を考える上では、 次に小学校の通学区域などの話も出てくると思いますので、時間が許さ ば、少し皆さんに議論していただきたいと思います。</p> <p>では、議事に入っていきますが、まずは、第 2 回目の議事録につい ての確認であります、修正等のご意見はありますでしょうか。</p> <p>(事務局) 第 2 回議事録の修正箇所説明</p> <p>(会長) ほかに修正等のご意見はありますでしょうか。なければ、承認とさせ ていただきたいと思います。</p> <p>(委員) 《異議なし》</p> <p>(会長) では、第 2 回目の議事録は、承認とさせていただきます。</p> <p>3. 議事</p> <p>では、(1) 中学校の検討について議論していきたいと思います。前回 の会議で、統合案の B 案、C 案について考えていくことになりました。 しかし、その際には、通学方法、統合時期、中身が大事になってきま すが、資料 3 を見ていただければと思います。事務局から本日の資料につ いて説明をお願いします。</p>
--	---

<p>(事務局)</p>	<p>資料 1、資料 2、資料 3、資料 4、参考資料について説明</p> <p>最後に委員の方より前回の会議を含め、本日の議題に関して意見をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>・通学距離について仮に佐屋中と立田中が統合した場合に、仮に佐屋中学校に統合したとして、立田中の生徒が登校することとなると、立田北部小学校の北部の地域、南川並の地域は通学距離が 6 km 以上となり、防犯上の観点からも国の基準にも適しておらず、検討が必要となります。</p> <p>こちらに関して①～③の案をいただきました。</p> <p>・①小学校区の通学区域の変更です。一部の区域を違う小学校の区域にするという案も以前の会議で少し述べられましたが、基本方針の中で記載されているとおり、小学校は地域コミュニティの熟成に果たしてきた役割や歴史的経緯があるため、慎重に議論を進める必要があると思います。また、中学校から一部の地域のみ違う中学校に通うとなると、友達同士同じ中学校に通いたいと思う子どもが多く、子どもの事を考えるならばベストな案ではないと思われます。</p> <p>・②スクールバス等の活用です。防犯上はベストな選択肢ですが、体力保持の観点からは疑問が残ります。また、どの地域からバスに乗車できるのか、財政的にどれくらい負担がかかるのか等まだ不明確な点が多く更に十分な検討が必要だと思われます。</p> <p>・③立田北部小学校の小学校区の最北と立田南部小学校の小学校区の最南と佐屋小学校の小学校区の最南東を端とした円で中心を描き、どこから通学しても約 4 km 程度で通学できる位置に新校舎を建てる。学校の用地取得等が必要になり多少時間はかかりますが、どこの地域からでも 4 km 程度で通学可能であれば防犯上許容できる距離ではないでしょうか。今までよりも通学距離が遠くなる子どもにとっても体力保持として理解が得られる距離だと考えられます。</p> <p>・市全体で考えると③の案が通学距離の観点からは良いのではとの意見をいただきました。</p> <p>また、適正規模及び実施時期についてということでご意見をいただきました。</p> <p>・適正規模になることが望ましいとの議論の中で、大規模か小規模かどちらが良いのかは、議論されていないため、優先されるとするなら過小規模校の解消ではないでしょうか。</p>
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①佐屋中と立田中が統合した場合、2028年度までは大規模校となり適正規模にはなりません。立田中学校単独では、R9年度からR13年度までは、一旦過小規模校になりますが、R14年度に一度小規模校になることから、早期に統合すると保護者からは理解が得られず反発が予想されると考えられます。</li> <li>・②佐屋中、立田中を早期に統合して将来的に永和中を統合すればどうかという議論もありましたが、全ての中学を含めると大規模校のまま適正規模にはならず、解決にはならないため、それなら小規模校のままが良いのではと考えてしまう方が多いと思われます。</li> <li>・③永和中は将来的には小中一貫校というお話もありましたが、永和中単独でいくとR15年度から過小規模校になってしまい、解決にはならないと考えます。</li> </ul> <p>・解決策の一つとして永和中に永和小+市江小学校を含めることで、適正規模校または小規模校でもある程度の生徒数が確保できると考えられ、通学距離でも許容される距離に収まるのではないかと考えます。また、中学校が多くあった方が地域の特色も反映されるのではないかと考えられます。</p> <p>以上となっております。</p>
(会長)	<p>ありがとうございました。前回の会議で合意させていただいた、佐屋中と立田中を統合するB案、八開中と佐織西中を統合するC案に則して通学距離と老朽化について資料を作成していただきましたが、委員の皆様ご意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>前回までの示された案について全面的に賛成の立場を表明させていただいた上で、これから議論を進めていくにあたって確認させていただきたいことが何点かございます。</p> <p>前回までの会議や、それまでの検証委員会でも同じだと思いますが、規模適正化については子供たちの未来の為に学校がどうあるべきかについて、専科教員の確保ができないことや、複式学級になること、あるいはいじめ問題への対応など小規模校における様々な問題に向き合い、ひとつひとつ丁寧に論理を積み上げながら、数字の上でも非常にロジカルに議論がなされてきている印象をもっております。</p> <p>しかしながら、委員の方々の中にも、この協議会はやっぱり統合ありきじゃないか、小規模校のメリットを生かす方向は議論するつもりがないよね、統合案も数合わせだよ、等のご意見をお持ちの方もおられる</p>

ようです。個々のご意見は最もだと思えますし、同じような意見は当然市民の皆様の意見の中にも一定数あることに違いありません。

今後、地域の協議会や、説明会に入っていくことを前提に、このような意見に対してもっと具体的に検討をした上で、現在のプランを策定していった方がいいのではないかと考えております。

立田や八開にとっては「中学校がなくなる」という部分だけが印象的にといいますか衝撃的に伝わるだけで、「子供たちにとっての最善の選択の中から導き出された」という本質の部分が伝わりにくいという難しさを感じております。

言い換えますと、各地域に中学校を残すためにできることはないかという視点から議論をし、現実的に可能かどうか検証をする必要があるのではないかと思います。

私なりに、立田八開に中学を残すために何をしなければならないかどんな問題が出てくるか考えてみました。

専科教員の配置ができないことと、複式学級になることに対しては、県または市が独自に非常勤職員を採用して配置することで可能と考える方が多いと思います。当然予算措置が必要になりますし、立田や八開地区にだけ割合として多く先生を配置することになれば、佐屋や佐織地区の方々からは、生徒一人当たりにかけてもらえる教育費の不平等感や、納税者としての佐屋佐織の皆さんからも、立田八開に予算が割合多く割かれることに対して、異論は多く出ることが予想されると思います。離島であれば児童ひとりに3人の先生がつくということは理解できても、陸続きで且つ平坦な愛西市の中で同じ議論はできません。

またいじめに対する対応や部活動など他の問題を解決する具体的方法は、それなりにアイデアを出そうと思いましたが、生徒の数が少ないを通り越して少なすぎるので、メリットも含めてなかなか思いつきません。

「少人数授業のメリット」と「小規模校のメリット」とが混同されて伝わる印象もあります。適正規模でも少人数授業は必要に応じてできると思いますし、授業に限らず様々な場面で可能性を拓けることができると思っています。それよりも本当に児童生徒が少なくなってしまったことが現実の問題として直視されていないというか、何が問題か伝わっていないのが1番問題だと思います。

市街化調整区域についても議論がありましたが、新しく人が入る以前に、ここで生まれ育った私のような次世代が、親と三世代で同居したり、敷地内同居、農地転用など方法があっても、外に流出し続けているところがあるのに、それを誰も直視していません。これについては前回もご意見あったようにここで議論することではありませんが、街づくりの意



<p>(会長)</p>	<p>見についてパブコメやヒアリングを実施するなど提言を出すくらいのことではできてもいいのかなと思います。</p> <p>数々の事例に関わっていらした先生方からも、統合ではなく地域の学校を存続させると仮定した場合に、そのために考えられる方策にどのようなものがあるか、それが現実的に可能かどうかお考えを伺いたいと思います。</p> <p>今の点について、中学校をまず考えましょうということです。中学校の場合には、専科教員の問題であるとか、いじめや部活動問題である程度規模がないといけないとのことでした。その中で少人数授業と小規模校というのは、違うのではないかとのお話があったと思いますが、そのあたりについて、現役の先生方からご意見をいただけますでしょうか。</p>
<p>(委員)</p>	<p>高等学校での経験から津島高校では、一学年 9 クラスですが、必ずクラスごとで授業をするかと言うとそうではなくて、特定の科目について、例えば数学、英語等、能力別に応じてある程度レベルが一緒の生徒を集めて、大人数でもできる授業もあれば、基礎をしっかりとしないといけない生徒は、人を減らして授業をする。ですので、2 クラスを 3 展開して、能力別に分けて、人数が 15 人とかでも 1 授業として取り組む学習方法があります。ただ、そのためには先生方の過重負担にならないようにしなければいけませんので、持ち時間が、高等学校ですと 17 時間から 18 時間ですので、それ以上となると、非常勤講師等の予算措置をする必要があると思いますが、予算によってどのくらいまでできるかは、学校の裁量となってきますし、県からの予算措置が付くかどうかとも問題となってきます。</p>
<p>(会長)</p>	<p>能力別編成で例えば、数学で言うと、わかっている子は先にどんどん進めて、基礎でつまづいている子は基礎をもう一度勉強させるという考え方だと思います。それには、ベースとなる人数がまず必要となると思います。ベースとなる人数がいて、それぞれに先生方が少人数授業として対応していくことになりますので、専科教員+非常勤の先生が必要となります。その非常勤の先生の予算を市が単独で持つのか、それとも県が加配をしてくれるかがわかりませんが、そういった形で少人数教育を行っていくことになると思います。</p> <p>今のご意見の解釈としては、一定の規模は必要であること。そうしないと能力別に応じた少人数の教育ができないことになります。愛西市が非常勤の教員をたくさん雇って、小規模校でも少人数授業をすることに、</p>

<p>(委員)</p>	<p>ほかの中学校に通っている親御さん等の合意を得られればよいと思いますが、そのことをきちんと説明できるかどうか疑問が残ります。</p> <p>来年度文科省の方から、第4期の教育振興基本計画が出てきます。メインは、「共生」という言葉です。今の子どもたちに欠けていることは、自立して社会に出たあとにはほかの人々と一緒に仕事をしていくのにどんな人であろうと付き合いしていくことが重要となる。その時に必要なのが「共生」となります。20年後の社会を目指して文科省の方針がスタートしているわけです。少人数授業の良いところは、一斉の授業とか、たくさんのグループでは話せないことがでてくる。小規模にして一人ずつの意見を引き出していくのが少人数授業のメリットだと思います。だから、大きな学校でも少人数授業というのは、力を入れています。</p> <p>先程も言いましたが、「共生」というのは、考えの違う人と話し合うことによって、相手を受け入れて、自分も主張するという授業をやらないと社会に出ている人々と共生できない、自立できない、社会に出て一人前になれないことになってしまう。例えば、アサーショントレーニングというのがあって、相手の意見を聞いて、自分の意見も言うという訓練があります。ディベートという自分の立場を決めて話し合うときに何が必要かを考える。そういった対人関係を養っていく方法として、少人数授業の良いところだと思います。</p> <p>愛知県の教育振興基本計画にもキャリア教育というものがあります。キャリア教育の一番のメインは、基礎的な汎用能力と言って、どんな職業についても絶対に必要な能力が人間関係形成能力です。これがないと社会に出て失敗する。40代以上の引きこもりが50万人もいるわけです。小学校、中学校以上で40代以下の引きこもりや不登校児が40万人いるわけですから、100万人近くが引きこもりだとか、一人で対人関係を形成できない子がいるわけです。そういう子どもをなくそうというのが、今の教育の方向なのです。</p> <p>だから、仲良しグループだけで育ってきて、社会に出てから困る部分が出てきますので、知らない人とも話し合う、知らない地域の人とも話し合うというのがこれからとても大切になってきます。</p> <p>今後、考えていくときには、自分の村や町の学校がどうなるかということよりも、外でたくさんの人と出会った方が対人関係のことを考えてもやるべきだと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>少人数指導というのは、各学校が取り組んでいると思います。特に愛知県は、昔から取り組んでおり、かなり研究されている学校もあると思</p>

	<p>います。ですので、大きい学校だから少人数授業ができないわけではないと言えます。ただ、その時に必要なのが、それなりの先生の数が必要だということです。ところが、非常勤を雇えば良いとかというお金の問題だけでなく、世の中全体で、非常勤講師の人材がないという問題があります。普通の定員さえ満たされない学校もあり、日本全国で言えば、何千人規模で足りない上に、さらに非常勤講師を雇うというのは、かなり難しい考え方ではないかなと思います。その中で、愛西市だけ来てもらえるかどうか、また、その非常勤講師は、その時だけ勤めたいというわけではないはずで、何年も教員として勤めたいと思う方々がほとんどだと思います。そういう面から考えると、いかに正規教員を配置できるように増やすかだと思います。</p> <p>非常勤講師ばかりの学校だといろんなトラブルが起こっているのが現実です。生徒指導についても時間的には、少なくなります。そういう点からいくと、非常勤講師を増やして対応するというのは、反対です。</p>
(会長)	<p>現職の先生方から何か意見等ありますでしょうか。</p>
(委員)	<p>少人数指導に関しては、先程からの話のとおり、複数の教員でクラスを受け持つこととなります。能力別に応じてより少ない人数を教えることとなります。これを分割せずにチームティーチングで一つクラスを2人で見る方法もあります。大規模校や小規模校であってもできることではあると思いますが、小規模校は、絶えず少人数になってしまうということはどうしても障害が出てきてしまうのが小規模校の少人数指導だと思います。そういったところで、小規模校の少人数指導は、改善していくべきだと思いますし、教育の機会均等の面からも一定規模の生徒数があるだろうと思います。</p> <p>それから、今非常勤講師を見つけようと思ってもなかなか見つかりません。県費の非常勤講師も見つからないのが、現状であります。なので、愛西市だけ非常勤講師を雇えば良いというのは、現実的には、非常に厳しい状態だと思います。</p>
(委員)	<p>小規模校で職員の人数が少ないとお休みも取ることもできないと思います。保育所なんかでも、定員が少ない保育所だと、少ない職員が配置されるため、どうしてもお休みを取らないといけなるときもなかなか年休を取ることもできません。先生方の働き方の面からも職員の数が多く、他の職員でカバーできる一定規模の学校にする方が良いと思います。</p>

<p>(会長)</p>	<p>そういったことが、子どもたちにとって、良い環境を作ることにつながると思います。</p> <p>少人数教育と小規模校は違うとの話しやこれから「共生」という学びが大事になってくることを踏まえ、小規模の中学校を解消していくという方向性は必要であろうと考えます。先程出てきた意見をこれから、ちゃんと地域協議会で伝えていかなければ、なかなかご理解いただけないと思います。そういったことを事務局でもまとめて、地域協議会に進んでほしいと思います。</p> <p>では、議題に入っていこうと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>この協議会がスタートしたときは、基本計画の提案までやっていくということであって、地元はそのことを投げかけていく、または、手前までのような素案まで作成していくのかと思っていましたが、前回の会議で、地域検討協議会という言葉が使われていて、この協議会が終わったら、バトンタッチして、地域協議会が地元に入ってくというような流れなのではないでしょうか。全体の流れが示されていないので、どういう風な道筋の中で私たちの協議会があるのかわからない状態です。ゴールが分からなくなっています。最初の段階で示していただきたいです。市民の皆さんに今そういう方向に向かっているということをお知らせいただきながら進めていかないといけないと思います。ロードマップを概略でよいので示していただければと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ロードマップの概略についてであります。第1回の会議でお示しいただいているかなと思いますが、改めて事務局から説明していただけますでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>第1回検討協議会の資料4をご覧ください。</p> <p>まず、本検討協議会において基本計画の提案をいただきたいと思っております。これをいただいた後、検討協議会でいただいた案を教育委員会で諮らせていただき、基本計画の提案を持って、各地域の協議会へ入らせていただきたいと思っております。各地域に問題点となるものが多いかと思っております。仮にB案、C案と基本計画の提案をいただいた場合、通学区域の細かい経路や場所等を検討していただく必要があるかと思っております。また、学校が果たす地域のコミュニティの役割についても、学校ごとに地域がどう使っているか違いがあるかと思っておりますので、検討いただくことになると思っております。</p> <p>こういった細かく詳細に各地域で検討してもらいたいと考え、</p>

	<p>この地域検討協議会というのを第 1 回の協議会において提案させていただきました。地域検討協議会からの意見を交えた基本計画の提案を持って、再度教育委員会に諮り、基本計画の案を決定したいと思います。その後、各地区での説明会を開催し、基本計画の策定という流れで行きたいと考えております。</p>
(会長)	<p>こういうスケジュールでということでしたが、いかがでしょうか</p>
(委員)	<p>ありがとうございます。資料 4 の流れで動いているとのことでした。ですので、本検討協議会は、基本計画の提案までということになります。その後の教育委員会の基本計画の提案に対して、パブリックコメントをするのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>現状は、地域との合意形成後までは、パブリックコメントをいたす予定はありません。</p>
(委員)	<p>基本計画の策定前までやらないということによろしいでしょうか。</p>
(事務局)	<p>その通りです。</p>
(会長)	<p>地域との合意形成を受けた上で、基本計画の策定前に、行政手続き上パブリックコメントを行うということだと思います。</p>
(委員)	<p>決定となった後にパブリックコメントをするのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>各地区説明会ででの意見を受けた上で基本計画案を作成し、策定に行くまでの間にパブリックコメントを行います。</p>
(会長)	<p>教育委員会で基本計画案を決定し、そこから地域との合意形成をした上で、もう一度教育委員会で諮り、基本計画案をパブリックコメントにかけることになります。</p>
(委員)	<p>その形で問題ないのでしょうか。パブリックコメントの意見が無視された形になりませんか。</p>
(会長)	<p>パブリックコメントというのは、行政手続法上に規定されたもので、必ずパブリックコメントはやりなさいとなっています。例えば、出てき</p>

	<p>た意見に対して採用できない場合も含めて、意見を表明して市民に公開しなさいということで決まっています。ですので、必ず最後の計画を策定する際には、やらなければいけません。</p>
(委員)	<p>必ず意見を反映させるということですか。</p>
(会長)	<p>反映させる場合もありますし、反映させない場合は、その理由を明記する必要があります。</p>
(委員)	<p>前回の様に時期が遅れてというのではないですか。</p>
(会長)	<p>それはやらないということだったと思います。</p>
(委員)	<p>前回の時にB案とC案を決定したじゃないですか。それに対するパブリックコメントを受けて修正はするけれども、B案、C案までひっくり返されたら、この会議をやっている意味がないと思います。小学校までは行ってないですけど、あとは小学校まで決めて提案していくと思いますが、B案、C案は決定で良いですよ。</p>
(教育長)	<p>もし、B案、C案と決定されたものを最後のパブリックコメントでひっくり返ってしまうとなれば、こういった会議は開かず、すべてパブリックコメントで決定していかなければなりません。有識者や学識経験者が集まって将来のことを考えていただいている。ある程度の方向性を決定するために行っていると考えています。全部パブリックコメントで行っていると、收拾がつかずに停滞してしまいます。提案という形で進めないといけないと思いますので、ぜひこの会議で方向性を決めていただいたことについて、市民の皆様にお諮りするということです。</p> <p>すべてコンプリートすることは難しいですが、やれることからやってみないと間に合わなくなると事務局としては考えております。</p>
(委員)	<p>パブリックコメントのスケジュールのことはわかりました。この協議会が終わった後で、地区検討協議会に移り、その議論も終わった後でパブリックコメントを実施するというので、心配されるのが、この協議会の出発点であります基本方針でパブリックコメントを取っており、その上で今回の協議会を行っております。最初のパブリックコメントが心配です。市民からするとブラックボックスのまま決めてきたように感じてしまいます。今さらやり直すわけにはいきませんので、今からやれる</p>

	<p>のは、市民の意見を分類整理して、やれることはやる、盛り込めなかったことは、きちんと説明してということが、今後の説明会でできると良いと思います。</p> <p>パブリックコメントの結果について、私たちは、聞いていませんので、その責任を取らされるのは、まずいと思います。</p> <p>私自身がパブリックコメントを分析しますと、大半が小規模校で良いとの意見です。愛西市が文科省の基準を使って、愛西市の適正規模という学校を作っているというだけで、我々が住んでいる場所は、はるか昔から小規模校ですと言いたいのです。なにを今さら、適正規模とか言って、合併しなければいけないのかという疑問が多いと思います。それに対して、言葉だけで適正規模と言っても、その適正が適正であれば、私たちが小学校のときは、適正規模じゃなかったですよ。数十年遡って、謝っていただきたいと思います。今まで 100 年間小規模で放置してきましたごめんなさいと謝ることから始めなければいけません。市民感覚でいくと、次のパブリックコメントでどかんと出てくると心配します。</p> <p>ですので、前回のパブリックコメントは分類整理しておいてほしいと思います。</p>
(委員)	<p>パブリックコメントを私も分類してみました。今のままだが良いというのが 33 件、老朽化を優先が 14 件、住民が納得とか民意が優先であるが 9 件、適正規模ってなにというのが 13 件、ほかにも愛西市の人口を増やす等がありました。パブリックコメントは、賛成の人が両手を挙げて出てくるわけではありません。反対の人が出てくると思います。これから住民の方に説明するときは、社会が変わっていくのだということと、小規模校だとメリットもあればデメリットもあるということを上手に伝えていかなければいけない。それが、教育委員会の役割だと思います。現状維持に流されてしまうとこの会議の意味がなくなると思います。</p>
(委員)	<p>パブリックコメントで私が期待するのは、反対意見をできるだけ多く出していただくことだと思います。反対の人がみんなだまってしまうととんでもない意見で進んでいくこともあります。反対の意見は、できるだけ出し尽くしていただいて、それに対して、行政がきちんと備えるというのが民主主義の根幹だと思います。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。パブリックコメントをやるときは、行政は、このように考えているので、だからこの意見は採用できませんという風に根拠を持って対応しなければなりません。最初に採用された案は、た</p>

(委員)	<p>しかに論拠が乏しかったかもしれない。しかし、基本方針を検証する際に話がありましたが、地域の子どもの数その時の想定からもう一段減っているということです。このままだと本当にえらいことになってしまうという危機意識から今回が始まっているということ。それから、なお一層子どもの数が減っていく可能性があるので、愛西市としては、先取りをして教育環境を整えていかなければならないとのことです。</p> <p>委員の発言から、私も同年代ですので思うことですが、昔の教育環境って先生も楽だったなと思います。今の小学校の先生はとんでもない負担の中やっているし、その中で子どもが教わっていると思います。そういったことで、私たちは、教育環境を整えていかなければならないと思いますし、通学の区域の問題も考えなければなりません。ここで基本計画の素案を作って、それぞれの地域で説明会を行うことの前提になるのが、パブリックコメントにありますように、単に小規模校が良いじゃないかという意見に今後の学習活動を見据えるといかにデメリットの方が多いと考えられるかを示すことと、今地域で生まれている子どもの数を見ると、5年後、6年後の小学校が何クラスになるか見えてくるのですから、本当に子どもたちにとって良いのかをそれぞれの地域で考えてもらう必要もあると思います。</p> <p>議論していただく上で根拠となるものと言え、中学校の子どもの数の推移であると思います。推計ではなく、実数として出ているので、これをベースに地域に説明しなければいけません。なおかつ、次のパブリックコメントの時には、こういった説明を行ったということに基づいて、それでもなお、ご意見をいただいたときには、その意見をどう活かすのか、活かさないのか考えるもう1ステップ進んだパブリックコメントができるのではないかと思います。</p> <p>ここでの議論は、基本的な中学校の方針を固めるとこまでは合意をいただきました。その方針に付随する議論をしていただこうと思います。今日は、通学区域と建物のキャパシティは大丈夫かどうかを確認していただきます。もう一つは、小学校の再編統合の問題であります。そういったところに焦点を当て、ご意見をいただければと思います。</p> <p>今日は、小規模と少人数のデメリットについて議論されていたのですが、私は最初から少人数や小規模校についてデメリットもありますが、上回るメリットもあると思っています。私もずっと1クラスでやっています。愛西市には、福原分校もありました。いろんな特性を持ったディスカッションができないというのは、コロナ禍で時代が進み、どこでもネットにつながれて、一人一台タブレットを持っていて、つながる</p>
------	---



	<p>うと思えばつながれると思います。</p> <p>地区説明会に行くというのを考えると、B案、C案が覆らないようにわかってもらうということですが、資料を見ると、過小規模校というものを解消しようということですが、永和中も八開中や立田中と同じように減っていくのに、永和中だけ人口動態を注視なのか。地区説明会に行ったときにわかってもらえるか不安に思います。立田、八開を統合することで母校がなくなり、それなりに痛みは伴います。これは、決定でしょうか。</p>
(事務局)	<p>この会議の中で、永和中学校もB案に後から統合していくということを踏まえるとありましたので、その部分の表現が抜けていたと思います。永和中学校も過小規模校になる前にB案の佐屋中学校と立田中学校が統合したところに合わさるF案と将来的になることを表現したいと思います。</p>
(委員)	<p>ということは、永和の小中一貫校という話はどうなりますか。</p>
(事務局)	<p>委員の方から小中一貫校という話しも附帯事項として挙がっていましたので、検討は必要かと思います。</p>
(委員)	<p>永和の方に揉んでもらうということですか。</p>
(事務局)	<p>佐屋地区の検討協議会になると思います。</p>
(委員)	<p>人口動態に注視しというのは、永和だけというのはおかしいと思います。</p>
(事務局)	<p>永和地区の人口が減っており、永和中学校も過小規模校が見えていますので、永和中学校の過小規模校もなんとかしなければなりません。その中で、一気に佐屋中学校、立田中学校、永和中学校を統合すると、過大規模校になってしまいますので、まずはB案を進めて統合していくのちに、まだ永和中学校の過小規模校が見えている場合は、将来像のF案となるか、小中一貫となるかわかりませんが、そういった議論をしていただいていたと思います。</p>
(委員)	<p>わかりました。</p>

<p>(教育長)</p>	<p>立田中、八開中、永和中は、2033年に過小規模校となっています。今までも、大規模校、適正規模、小規模校等がありましたが、ここに来てなぜ急にやるのかというのは、あまりにも1クラスあたりの人数が少ない問題が出てきており、再度検証していただくという流れでありました。永和中の2033年の過小規模と八開中の2020年の同じ過小規模校でも八開中は通常学級4クラス、2033年の永和中は、過小規模校になりますが5クラス、さらに立田中と八開中では、男女別で1桁の学級が出てきます。もちろん永和中は、対象校ではありますが、1小1中で立地的にも近いので小中一貫教育が施しやすい環境にあります。小中一貫校と小中一貫教育の違いは、併設、隣接型は、連携していますが、限界があります。小中一貫校だと中学校の先生が小学校の授業をしたり、小学校の先生が中学校の授業をしたりできます。永和中は、特異な例ではありますが、それが可能な地区であります。永和小と永和中が離れた場所であれば、そういう話はできません。先程から話がありますとおり、先生の数が足りませんのでそれを助けてあげたいとも思います。</p> <p>今は確実に先生の候補者が不足しています。例えば、平成12年ころの小学校教員採用試験の倍率が12、13倍あったのが、今は2.5倍となっています。成り手がなくて、手当ができないのが現状でありますので、先生も救ってあげたいし、生徒も救ってあげたい。</p>
<p>(委員)</p>	<p>永和一貫教育ができるなら、八開も施設を残した上でできるじゃないかと住民説明会で言われてしまうのではないかと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>子どもの数がすべてのベースだと思います。八開や立田のように永和中でも2033年には、同じようになっていくことを理解し、愛西市全体の中学校の再編の話をしているわけです。その時には、小中一貫の選択肢もあるかもしれませんが、これが具体的に議論されるのは、2025年以降ではないでしょうか。それまで何もしないわけにはいけませんので、今赤くなっているところから議論していくことが大事だと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>検証委員会の時から何度も小中一貫校については、意見いたしておりますが、立田と八開で一貫校をやるところから始まったのですが、小中一貫校をなぜやるのかの考え方が私と教育長とはまったく違って、過小規模校を減らすとか、学校の建物を減らすとかのために小中一貫校をやる雰囲気がありありと感じます。教職員が足りないから小中一貫校をやる、建物を減らしたいから一貫校をやるというのは、土建屋で</p>

	<p>はないので。教育長がいつもおっしゃっているように、私たちは子どもたちの教育環境をいかに平等で効率良く、楽しい教育環境にするのを考えていかなければいけないのに、どっかの労働組合の議論を言ったってしょうがないと思います。子どもを中心に考えるのであれば、文科省のモデル校をもらってきて、永和だけ特別扱いでやるのだと言っていただければ、皆さんから合意が得られると思います。同じ愛西市の中で永和だけ小学校1校、中学校1校しかないから小中一貫校をやるのだというそんな議論は、恥ずかしくて説明できますか。そんな小中一貫校だったら、やる意味がないと思います。建物の数を減らす統廃合プランをやっているのか、子どもたちの教育環境を良くしようと思っているのか、目指しているところが違う気がします。そうでなければ、そんな不平等で差別的に小中一貫校をやるというのはやめた方が良くと思います。</p>
(会長)	<p>今の意見に関しては、意見として議事録に残ると思いますが、基本的には、永和が過小規模校になっていくのが、2033年であるということ。その時には、なんらかの形で解消するための方法を考えなくてはいけない。F案とするのか、永和は小中一貫をやるのかは、先の話しであるだろうと思います。ただ、そういった方法があるということは、書いておく必要があると思います。</p>
(委員)	<p>現実的に永和中学校も統合の対象として考えなくてははいけません。永和ばかり特別ということではなくて、立地的な部分や住民が増える可能性であるとかを考えてみると、残しておきたいと思います。</p> <p>もう一つが永和中学校と永和小学校の歴史的な流れについてですが、昔から必ず一緒に運動会を行っています。中学生が隣の小学校に行って、小学生を指導して一つの演技を作り上げています。そういう場面があるということと、立地の問題で、校舎が離れていればできませんが、隣にありますので、すぐ行き来ができます。</p> <p>そういった面を考えると小中一貫という要素も残しておきたいと思います。義務教育学校という手もあると思います。</p>
(会長)	<p>永和地区の実情でしたが、市全体の中学校の在り方について検討していますので、今後の選択肢としては残しておく必要があるかと思っています。</p>
(委員)	<p>会議に出ていると、統合する気になってくるのですが、わからなくなってきて、統廃合も老朽化対策もあり、市街化区域の話になったときには、人口がどう増えていくかの話をしてもしょうがないとのことでした。</p>

<p>(委員)</p>	<p>たが、今、あそこは可能性のある地区だからという感じでしたので、言っていることがこんがらがっていると思いました。永和中は、老朽化の評価区分Ⅱでありますので、老朽化対策を考える上では、統廃合の対象になってもおかしくないと思います。じゃあなんで八開は小中一貫ではダメなのかと思います。1 クラスでやっていけるのではないかと思います。</p> <p>八開と永和で状況が似ていても、永和は対象じゃないというのは、合併の話も良いものなのか疑問に思います。</p> <p>躯体も 100 年持つと言われていの中ですぐに工事をしなければいけないものでもないのではないかと思います。</p> <p>老朽化に関しては、佐織中学校以外は、耐震対策は行われているので問題はありますが、設備的な面で学校として良い環境ではないと言え、評価が落ちていると言えます。</p> <p>100 年持つと言っても、償却期間の 60 年ぐらいに近づいていますので、考えていかなければなりません。</p> <p>小中一貫校については、中学校をメインで考えていますので、置いておくにしても、1 学年 1 クラスというのは良くないと思いますので、前回でも皆さんがおっしゃっていた 2 段階での統合案について私は賛成いたします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>ですので、小中一貫については、将来そういった検討もあり得るという見解に留めておくという方が良いと思います。</p>
<p>(教育長)</p>	<p>言葉足らずで誤解を招いたかもしれませんが、永和中学校については、最終的には F 案に入っていたと思います。ただ、永和学区は、小学校 1 校、中学校 1 校で立地的にもそういった選択肢が可能ということであり</p> <p>ます。</p> <p>訂正していただきたいのが、そもそも建物をどうこうするというのがスタートではありません。子どもたちの教育環境を良くするのはスタートでありますので、明確に申し上げておきたいと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>適正規模と老朽化対策を兼ねた会議ですが、子どもたちの教育環境を考えれば、適正規模をまず第一に考えて、そこに老朽化対策をどのように行っていくかを考えるようにするとより良いものになると思います。なによりも過小規模は避けなければいけないですし、できれば小規模も避けて適正規模に持っていく必要があると思います。小規模の中でも適</p>

<p>(委員)</p>	<p>正規模に近い小規模と過小規模に近い学校では、教員数等が違いますので、やはりより良い教育を求めるのであれば、少しでも子どもの数が多い方が良いと思います。</p> <p>本当に教員の数が少ないと皆さんもお分かりだと思いますが、現場の教師というのは、担当教科外を教えたり、クラスが少なければ学年をまたがって教えたりしなければなりません。教師の犠牲の上に過小規模校等は、成り立っていますので、より良い子どもたちの教育環境を整えるには、教師の力量の向上ができる環境も求められていると思います。</p> <p>老朽化について、100年という話もありましたが、色々なところが壊れています。その都度、教育委員会が修繕していただいていると思いますが、見えないところでひどい状況になっていることをご理解いただきたいと思います。水の色が違う場所もありますし、どこが原因であるかわからないような漏水があったりします。すでに直していただいているが、直していだけで果たしてずっと続けられるのか心配しています。一刻も早く手を付けなければと思います。</p> <p>それから、以前教員の配置に関わっていたのですが、八開中学校で一週間だいたい6時間×5日間で30時間、または5時間の日が2日あるとして、28時間の授業がある中で、もしそこに家庭科の先生が配置されてしまうとその方は週に4時間ぐらしか3クラスであれば授業がないわけです。残りの時間何をしているかというと、当然他の教科を免許外で教えるわけです。自分は数学の教員ですが、過去に社会科を教えたことがあります。1クラスのためにもものすごい教材研究と労力が必要になりますが、やはり社会科の専門の先生には敵わないです。自分に教えられる生徒がかわいそうだと思います。そういったことを解消するには、ある程度の規模で正規の教員が配置されるというのが大事だと思います。</p>
<p>(会長)</p>	<p>やはりそういうことがあるみたいですね。一人で何役もやらざるを得ない状況であります。我々が教育を受けてきた時代から今では、小学校もコンピュータや英語の授業をしなければいけない。できれば、専科教員が配備されると良いと思いますが、中学校と同じ状況になるかもしれません。</p>
<p>(委員)</p>	<p>老朽化の評価値Ⅰの学校を見学させていただきました。立田北部小学校、立田中学校、立田南部小学校、佐屋小学校、佐屋中学校、それから評価値Ⅱの永和小学校、永和中学校まで見せていただきました。教職員の方がおられる学校では、色々なお話を聞くことができました。</p>

	<p>子どもたちの学習環境としては、教室の中の床板が傷んでいるとか廊下がつまづくくらいめくれているとかは、明日にでも直した方が良いと思いました。建物本体は、50年～100年持つということでしたが、地震が来ても倒れないように耐震補強の工事はすべて終わっていましたので安心していいと思います。ただ、見た目配管がむき出しになっていたり、外壁や塗装がめくれていたり、見栄えが良くないというのは印象としてありました。びっくりしたのが、エアコンが全部付いていないこととトイレがまだ和式便器が並んでいたことです。</p> <p>老朽化と言っていますが、本体は問題ないですし、5年や10年に一回は、小規模修繕ではすまないリニューアルは必要だと思います。一刻も早く危ないところはすぐ直してほしいと思います。リニューアルの5ヵ年計画や10ヵ年計画を立てて、計画的に予算を付けてもらえるようにこの協議会の意見を使っていただいて、それを背景に学校の設備を中心としたリニューアルの計画を立ててほしいと思います。</p>
(委員)	<p>設備等の更新をしていただくのは、愛西市に要望します。老朽化に関しては、この委員会では、検討の必要はないと思います。</p>
(会長)	<p>トイレとかは小中学校を通じて大きな問題だと思います。避難所となった場合どうするのかというのもあると思います。</p> <p>残念ながら今日は、時間がなくなってしまいました。今日は、小規模や少人数教育について今までの議論で抜けている部分を話していただいたと思いますが、あまり時間が残されていませんが、説明をいただいた資料で図面を示していただきましたが、もう一度説明いただけますでしょうか。</p>
(事務局)	<p>資料1について説明</p>
(会長)	<p>中学校の通学区域を見直すことによって、小学校の通学区域も変わってくるかもしれません。</p> <p>施設については、どうでしょうか。本日お示しいただいた図面上から教室等のキャパシティはどうでしょうか。</p>
(事務局)	<p>八開中学校へ佐織西中学校の人数が行くことは難しいですが、佐織西中学校であれば、教室の数も十分足りるキャパシティです。</p> <p>同様に立田中学校へ佐屋中学校の人数が行くことは難しいですが、佐屋中学校であれば、教室の数も十分足りるキャパシティです。</p>

<p>(委員)</p>	<p>通学に関してですが、B案、C案というのが出て、小中一貫という話しも出ていましたが、一旦白紙に戻して、F案とG案を前面に出して、段階的に統合していくタイムテーブルを作っていくのが良いと思います。</p> <p>個人的には、佐屋西小学校の用地を更地にしてしまい、体育館を2階に併設した6階建てくらいの巨大な校舎を建てるというようなことができれば、立田北部小の早尾の方からも市江小の端の方からも通学が可能な距離になるのかなと思います。ただし、永和地区の方があとから統合されるということもありますし、国道1号線もまたいでいるので、永和が統合する際には、スクールバスの活用が必要が出てくると思います。それを行うことができれば、佐屋西小学校を佐屋小学校に統合して、佐屋西小学校を更地にして、校舎が完成したら、佐屋中学校と立田中学校を統合するという流れであればスムーズに行くかなと思います。</p> <p>立田北部小学校の子は、佐織西中学校へ行った方が良いと思っていましたが、やはり、歴史的な背景からも立田北部を分割してしまうのは、かなり反発が大きいと思いました。</p>
<p>(会長)</p>	<p>立田北部の一部を佐織西中へということにはなかなかならないだろうとの意見でありました。</p>
<p>(委員)</p>	<p>第2回の資料を参考に佐屋西小に移すことで佐屋西小と佐屋中の距離が1.1kmとなっていますので1.1km西に移すことで、早尾町も6km以内、本部田町も6km以内に収まりますので、ロジカルで合理的な数字だと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>八開中と佐織西中を統合する円が書いてある図面ですが、建物のキャパシティだとか、そのまま使えるからという費用的な理由だけで校舎を決めるのは、安全性だったり、子どもの様子だったりを含めて考えるべきだと思います。私は佐織西中学校のことはよく知りませんが、例えば、佐織西中学校の子どもを八開中学校で受け入れ、円を八開中中心にずらしたとしてもちゃんと収まると思います。八開は田舎なので、安全面では、佐織西中の車が多いところよりも子どもたちが安全にすごせると思います。とても静かですし、佐織西中学校に絞らずにどっちが良いのかを検討した上で議論してほしいなと思います。</p>
<p>(委員)</p>	<p>葛木町なんかは佐織西中へ行った方が早いのではないかと考えられま</p>

	<p>すが、そうすると、立田北部小学校の学区が分断されてどうかと思いました。非常に残念なことではありますが、先々のことを考えると、そんなことも言っていられないと思いました。4つの町村が合併したということで、今まで通りじゃなくて、新しい愛西市づくりをしていかないといけないと思います。</p> <p>どうしても自分の学区のことを考えながらになりますが、全体のことを考える必要があると思います。B案とC案となって、小学校もなくなっていくと思いますが、致し方ないと思っています。</p> <p>愛西市全体のことを考え、交通の便等含めても旧佐屋町、旧佐織町が中心になるのかなと思います。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。今日の議論は、次回も続けさせていただきますが、施設をどう使うかは別にして、施設のキャパシティ上は、佐屋中と佐織西中の施設を利用することは可能だということはわかりました。</p> <p>通学距離の問題も議論をしなければなりません。立田北部を分割するかどうかの通学区域を考えると、付随して小学校の通学区域、統廃合も関わってきますので、今回はB案とC案をベースにして、素案を一度事務局から出していただき、議論していきたいと思います。</p>
(事務局)	<p>今、会長からお話しがあった小学校の素案についてですが、事務局が作成した参考資料を持っていますので、次回の会議までに見ていただきたいと思います。</p>
(委員)	<p>小学校の統合となると、学童保育、児童クラブを児童館もしくは子育て支援センターが担っていますので、教育委員会だけの話しではありませんが、今ある施設を残すのか、移設するのか検討していただく必要があると思いますので、関係部局へ情報提供していただければと思います。前回の立田八開統合案のときは、現在ある子育て支援センターについては、残していきたいとのことでした。</p>
(会長)	<p>ありがとうございます。子育てするなら愛西市と言えるかどうかだと思いますので、教育委員会だけでなく、総合教育会議で話し合っていたかなくてはいけないと思います。</p> <p>本日は、ここまでとさせていただきますが、(3)その他について事務局から何かありますでしょうか。</p>



<p>(事務局)</p>	<p>今回は、令和4年9月21日(水)文化会館3階大研修室で予定しておりますのでよろしくお願いします。</p>
<p>(会長)</p>	<p>それでは、本日の会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>4. 閉会</p>